

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966

<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



一の坂川沿いのさくら

2021年4月1日号 Vol. 93

「山口七夕ちょうちんまつり」運営スタッフ（ボランティア）募集!

白石地区地域づくり協議会では「みんなでつくる住みよいまち・白石」の実現に向けて、子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れ、もって地域住民同士の連帯感や絆を深めるための手段として「ふるさとまつり参加促進事業」に取り組んでいます。そこで今般、「山口七夕ちょうちんまつり」運営スタッフを募集します。

【活動内容】

「山口七夕ちょうちんまつり」におけるミニちょうちんツリーの設置・飾付・点灯

開催日時：令和3年8月6日(金)～7日(土)17:00～21:00

開催場所：一の坂川西京橋から千歳橋の両岸(右図参照)

募集人数：60人

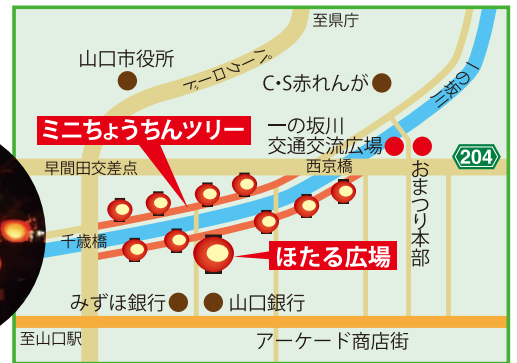
※上記開催日時のうち、ご参加できる日時をご連絡ください。

白石地区住民で地域振興に関心がある方であれば年齢は問いません。

【お申込・お問い合わせ先】 白石地域交流センター内

白石地区地域づくり協議会事務局(担当:桑原・二間)

TEL:083-941-5959 FAX:083-941-5966



食育の日行事を開催しました.....

2月19日(金)、食生活改善推進協議会のヘルスメイトの皆さんが交流センターのロビーにおいて、「野菜たっぷり減塩」・「毎日野菜をプラス一皿～めざそう1日350g以上の野菜～(ワンベジライフ)」をテーマにフードモデルを展示し、来所者に説明を行いました。

今回は約20種類の切り分けられた野菜を実際にお皿に乗せ、どのくらいで350gになるか挑戦しました。

成人の1日の野菜摂取の目標量は350gと定められています。山口県の摂取量は目標値よりかなり少なく全国平均も下回り、全国順位は男女とも40位です。

野菜の摂取は、血圧の低下、血糖値の急上昇抑制、肥満防止などに効果があり、生活習慣病の予防につながります。

健康な毎日を過ごすために、「減塩ライフ」、「ワンベジライフ」を実践してみましょう。

350gピッタリに挑戦!



野菜を1日350g食べましょう

発災実動訓練を実施しました

3月7日(日)白石地区の認定防災士(28名)と7町内会(荒高・西門前新橋・中讃井・上清水・米屋町・早間田・東白石)が参加して、震度6強の地震発生を想定した発災実動訓練を開催しました。

玄関先に黄色いタスキを掲げて安否を知らせる訓練では276世帯のうち、223世帯が参加しました。(参加率81%)

黄色いタスキで安否確認



高杉晋作と山口市 松前了嗣

第1回 はじめに

幕末の志士・高杉晋作の27年と8カ月の生涯の中で、現在の山口市と縁が深かった時期は、文久3年（1863）6月頃から慶応3年（1867）4月頃までの約4年間と考えていいのではないのでしょうか。

しかし、この意見に対しては、「晋作は萩や下関の方が縁が深いのでは？」といった声もあるかと思えます。

晋作は、天保10年（1839）8月20日、萩城下に生まれ、藩校明倫館や吉田松陰が主宰する松下村塾に学びます。

文久3年（1863）6月7日には下関で奇兵隊を結成し、その初代総督となりました。翌年の元治元年（1864）8月、長州藩は関門海峡において、英米仏蘭の4カ国連合艦隊と戦い敗北しますが、この時彼は、下関で連合国側を相手に、藩の代表として講和談判に臨んでいます。さらには、同年12月15日深夜、長府の功山寺で決起した後、下関の新地会所を襲撃、これが翌年には大田・絵堂の戦いへと発展。彼はこの戦いで、遊撃隊を率いて奇兵隊の山縣有朋らとともに、保守派の萩政府軍を撃破します。そして、慶応2年（1866）6月に始まった四境戦争（第二次長州征討）では軍艦に乗り込み、周防大島沖で幕府軍艦に奇襲攻撃をしかけ敗走させます。その後は下関へ回航。小倉口の戦いで指揮を執りますが、途中か

ら病の床に就くようになり、慶応3年（1867）4月13日（命日は14日）、下関において、ついに帰らぬ人となったのです。

このように、晋作の原点は、萩にあり、躍動したのは下関だったようです。しかし、彼が再び歴史の表舞台に現れ、人生の再出発を切った場所は、ここ山口市だったのです。

そんな彼は、藩主や世子から度々、山口へ呼び出されています。秋穂二島に奇兵隊本陣を置いたこともありました。江良に住んでいた時期もありました。小郡では藩政府の中心メンバーのひとりとして、会議にも参加しました。湯田に住む友人の見舞いにも行きました。徳地に友人を訪ねたこともありました。家族のために家を構えようと山口に土地も購入していました。

晋作は、文久3年6月から慶応3年4月までの間は、多くの苦難もありました。亡くなる直前までの約8カ月間は病氣療養中でした。

しかし、この約4年間で、彼の人生の中で一番輝いていた時期だったのではないのでしょうか。

それでは今から、様々な史料を頼りに、晋作と山口市との関わりについて、探っていくことにしましょう。



象頭山(山口市大内御堀)から山口市の町を望む

令和3年度

「白石歴史探訪の会」講演会開催予定

参加無料
学生さんも
大歓迎!

開催日	演題	講師
5月22日(土) 13:30~15:00	松塾の双壁：久坂玄瑞	小山 良昌氏
※変更 6月開催予定(詳細は4月末に決定します)	山口市の歴史①	歴史民俗資料館学芸員
8月28日(土) 13:30~15:00	高杉晋作と山口市①	松前 了嗣氏
9月25日(土) 13:30~15:00	憂国の志士：赤禰武人	小山 良昌氏
10月23日(土) 13:30~15:00	山口市の歴史②	歴史民俗資料館学芸員
11月27日(土) 13:30~15:00	高杉晋作と山口市②	松前 了嗣氏

場所：白石地域交流センター講堂 / 申込先：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)



昨年度の様子



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。